

令和3年度 学校関係者評価

本校が自らの教育活動その他の学校運営について組織的・継続的に改善すること、信頼される開かれた学校づくりを進めること、教育の質を保証し、その向上を図ることを目的に学校関係者の皆様から学校への意見や評価をいただきます。

学校関係者評価委員会委員（敬称略 あいうえお順）

宇賀神 美代子 医) 真養会 田沢医院 法人看護局長
片岡 紀子 かぬき地域包括支援センター センター長 (R04 欠席)
勝山 智男 国立沼津高等専門学校 非常勤講師
渡邊 淳子 沼津市立病院 看護部長

実施日 実施場所

令和4年6月2日（木） 沼津市立看護専門学校会議室

学校の自己評価に関する評価結果

カテゴリー	自己評価	委員評価
I 学校経営	3.23	外部の学校関係者評価の周知を行い、次につなげてほしい。
II 教育課程・教育活動	3.54	コロナ感染拡大により実習等が様々な制約をうける中、教育目標の達成に向け、工夫し、努力していた点を評価したい。
III 入学・卒業対策	3.66	国家試験 100%合格達成は素晴らしい。学生と教員間の関係がしっかりしている。
IV 学生への支援	3.33	学校規模に応じたきめ細やかな学生支援が行われている。メンタル面の支援は難しい、プライバシーに配慮しながら実施できている。
V 管理運営・財政	3.35	学生の満足度調査の意見を反映できる仕組みが整っている。
VI 施設・設備	3.45	校内はよく整備されており、清掃・整理が行き届き、使いやすい環境が維持されている。ICT 整備の取り組みを期待している。

VII 教員の育成	3.04	昨年度より自己評価点数が下がっているが、教員同士が共通認識・共通理解する機会を増やすと良い。
VIII 広報・地域活動	3.13	学生祭などの行事を通しての広報活動が活発に行われている。さらに地域との連携を充実するために学校の周知に地域とのコミュニケーションを図っていくことに努めてほしい。

改善策等の提言

- ・小人数制の学校というメリットは大きい。学生と教員の密な関係性が良い支援へと繋がっていると考える。
- ・自己評価の増減はあるが、平均 3.0 以上と考えれば、平均点以上の取り組みができています。これからも少人数制の教育・メリットを生かして、心豊かな思いやりのある学生の育成を目指したい。
- ・学校設置者が沼津市であるため、市内への就職率の向上に配慮しながらの学校経営をされているようですが、市内への就職率を（数値目標を掲げて）学校運営評価の項目に上げる必要はないと考える。